

指導教員	白松 俊
研究室から一言	「自然言語処理やナレッジグラフ、シビックテックに興味がある」 「人間社会の合意形成手法をアップデートしたい」という人、ぜひ！
研究テーマ	自然言語処理でコラボレーション(合意形成やシビックテックなど)を支援
白松研では、 自然言語処理 や ナレッジグラフ といった技術を応用して、合意形成やシビックテックなど組織の壁を越えたコラボレーションに使えるようなシステムを研究・開発しています。近年は特に GPT-3 等の大規模言語モデルにより言語生成技術が飛躍的に発展しましたので、 意見やアイデア , 歌詞付きコード譜の自動生成 にも挑戦中です。特に意見やアイデアの生成は合意形成支援研究の一環であり、SNS 等の「社会を分断してしまう Web」を「 相互理解を促進してくれる Web 」に変える技術の確立を目指しています。そのために、どのように実世界の因果関係知識を扱えば良いかを研究したり、研究室内ルールを直接民主制で合意形成する実験にも挑戦しています。他にも、生活困窮者の支援活動を支援するシステムや、ユーザの興味／スキルを聞き取るチャットボット、ユーザのメンタル危機を検出してカウンセリングに誘導するチャットボットも開発しようとしています。	
研究室見学会 場所	2 号館 B 棟 2 階 202B
研究室見学会 日時	(他の日時を希望する方は、 siramatu@nitech.ac.jp まで。応相談) 10/14(金)13:00, 10/17(月)14:40, 10/19(水)13:00, 10/20(木)13:00, 10/25(火)14:40
定員超過の場合の選考基準	面接にて総合的に選考

(15) 2019年(令和元年) 9月17日 火曜日

「シビックテック」活動の構造化

研究現場 発

白松 俊

市民協働を促す基盤技術確立を目指して

写真1 活動内容を構造化する WebAR Mission Forest

写真2 「全国若者・ひきこもり協同実践交流会」と連携した社会実験

研究テーマを生み出し、今年度も継続中である。また、同様の問題意識から、市民とAI研究者が協働して地域課題解決を試みる場を提供すべく、人工知能学会に設置された「市民共創知研究会」の運営にも携わっている。これまで、遠野市・刈羽市・名古屋、小松市、松江市の5カ所で開催した。市民共創知研究会の運営にも携わっている。これまで、遠野市・刈羽市・名古屋、小松市、松江市の5カ所で開催した。

経済効果が見込めますし、観光客に日本文化をアピールするチャンスです。

人間が入力したテキスト

GPT-3が自動生成した意見

意見の自動生成

アジャイルな合意形成プロセス

歌詞&コード譜自動生成

音声議論の半自動構造化

メンタル危機の検出ボット